



LIXIL

アルミ手すりS型 単体サッシ用〈補助ポール用〉

取付け説明書

■施工される方へのお願い

●本説明書で使われているマークには以下のような意味があります。

⚠警告

…取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

⚠注意

…取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負う危険および物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

⚠注意

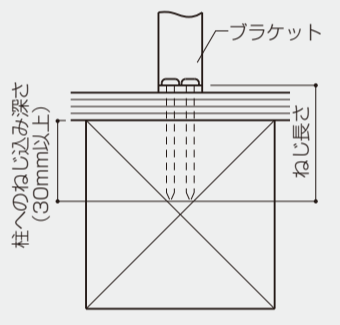
- ねじ部からの漏水防止のため、躯体の下穴には必ずコーキング材を充てんしてください。
- 補助ポールの裏板には上下があります。刻印(上)を上にして取り付けてください。

⚠警告

●手すりの落下・転落防止のため、下記事項を厳守してください。

- 1.当製品は木造躯体専用です。ALC・RC等の躯体には使用しないでください。
- 2.取付け前に必ず、柱・間柱・窓台の位置・寸法、外壁材・下地材の厚さを建築図面で確認してください。
- 3.ブラケットは必ず柱に、指定のねじで取り付けてください。柱のない部分には取り付けしないでください。
- 4.柱へのねじ込み深さは30mm以上確保してください。
- 5.壁厚が30mm以上の場合は、厚壁用のねじを使用してください。
- 6.強度・防錆性を保つため、必ず指定のブラケット・ブラケット台座・ねじ類を、指定の数量使用してください。
- 7.外壁のパカ穴は、柱まであけないでください。
- 8.手すりについたり足をかけたりしないでください。また、重いものをのせないでください。
- 9.サイドガードは必ず取り付けしてください。
10. 躯体に下穴をあける場合は、ねじの外れ防止のため、φ5のねじにはφ3.5、φ4のねじにはφ3のドリルを使用してください。
- 11.手すり取付け後、笠木をゆすってガタツキのないことを確認してください。

■柱へのねじ込み深さ



■部品一覧表

番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
部品図							
名称	ブラケット	ブラケット取付け板	ナベ小ねじ M4×6 ブラケット固定ねじ(小)	締付け金具	六角ボルトM6×55	六角ナットM6	スプリングワッシャーM6
入数	2個入	2個入	8本入	4個入	2本入	2個入	2個入
番号	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭
部品図							
名称	ブラケット取付けねじ	裏板	ナベ小ねじ M4×10 ポール固定ねじ	角ナット	連窓用補強板	補強板固定ねじ	ナベ小ねじ M6×16 (Wセムス) ナベ小ねじ M4×10 (Sセムス) ブラケット固定ねじ(大)
入数	4本入	1個入	8本入	2個入	2個入	2本入	2本入

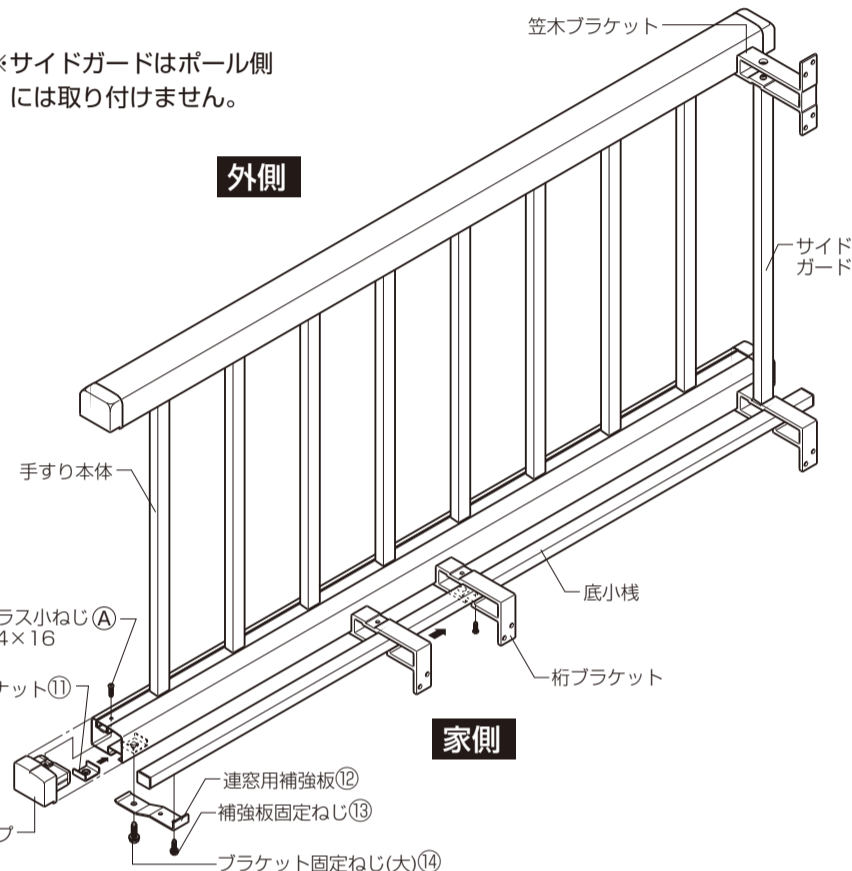
■取付け方法

【お願い】

下記の1)、2)の取付けの際は、手すり本体に同梱の取付け説明書(MAA-297)に従ってください。

- 1)笠木ブラケット及び桁ブラケットを手すり本体に取り付けます。※その際、補助ポールを取り付ける側の笠木ブラケットは、取り付けしないでください。
- 2)底小棧を取り付けます。
- 3)補助ポールを取り付ける側の桁ブラケットを、スライドさせて間柱位置まで移動します。
- 4)補助ポールを取り付ける側の桁キャップを、ねじを外してから外します。
- 5)角ナットを桁に差し込みます。次に連窓用補強板を桁と底小棧の端部に当て、⑬補強板固定ねじ及び⑭ブラケット固定ねじ(大)で底小棧を固定します。
- 6)外した桁キャップを取り付けます。

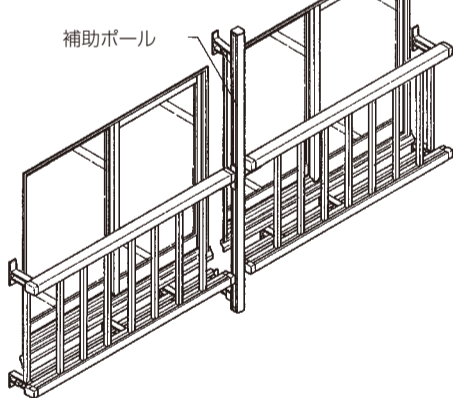
※サイドガードはポール側には取り付けません。



〈連窓の場合〉

- 1)開口部に合わせ、上下の①ブラケットの取付け位置を決め、⑧ブラケット取付けねじで躯体に確実に固定します。
- 2)躯体に取り付けた①ブラケットに、補助ポールを⑤六角ボルト、⑥ナット、⑦ワッシャーで固定します。
- 3)補助ポールの連窓する側に裏板を差し込みます。あらかじめ差し込んである裏板と連窓する側に差し込んだ裏板に、それぞれ笠木ブラケットを⑩ポール固定ねじで止めます。
- 4)手すり本体を、ブラケット取付けねじ(本体付属品)で、柱等の躯体に確実に取り付けます。※詳細は、手すり本体に同梱の説明書をご覧ください。

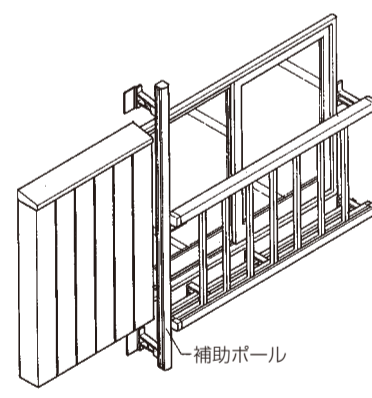
●姿図



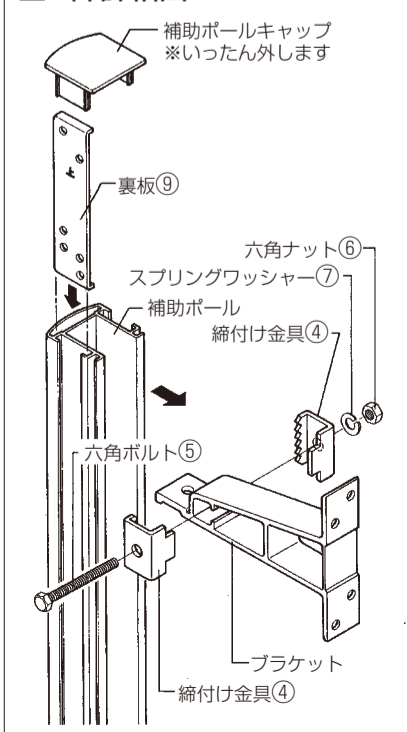
〈木製戸袋の場合〉

- 1)上下の①ブラケットと②ブラケット取付け板を、それぞれ③ブラケット固定ねじ(小)で固定します。
- 2)①で組み立てたブラケットの躯体取付け位置を決めた後、補助ポールに⑤六角ボルト⑥ナット⑦ワッシャーで固定します。
- 3)補助ポールを躯体に⑧ブラケット取付けねじで、確実に止めます。
- 4)補助ポールにあらかじめ差し込んである裏板に、笠木ブラケットを⑩ポール固定ねじで止めます。次に裏板に取り付けた笠木ブラケットに、ブラケット固定ねじ(本体付属品)で笠木を固定します。
- 5)手すり本体をブラケット取付けねじ(本体付属品)で、柱等の躯体に確実に取り付けます。※詳細は、手すり本体に同梱の説明書をご覧ください。

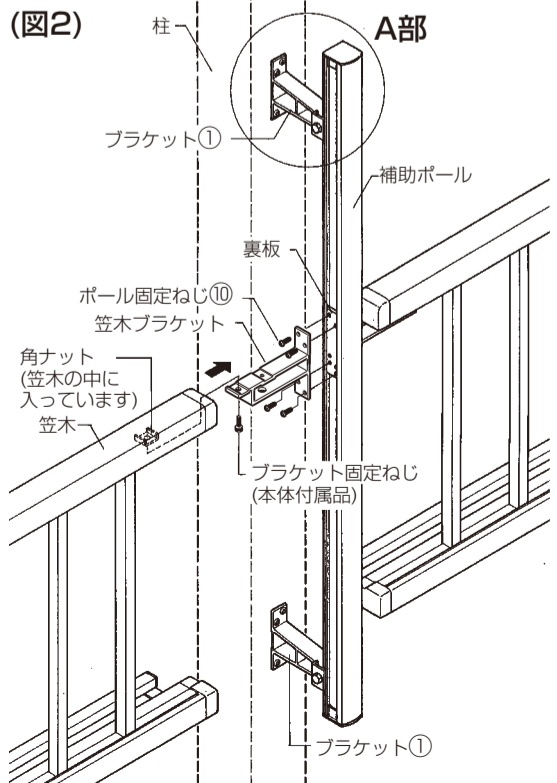
●姿図



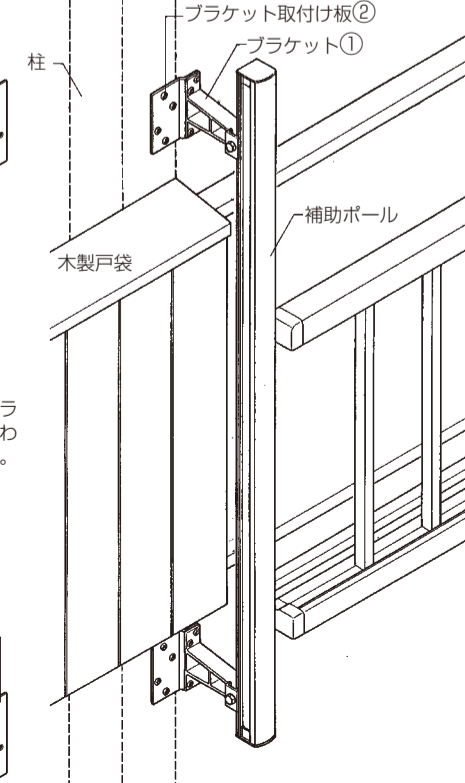
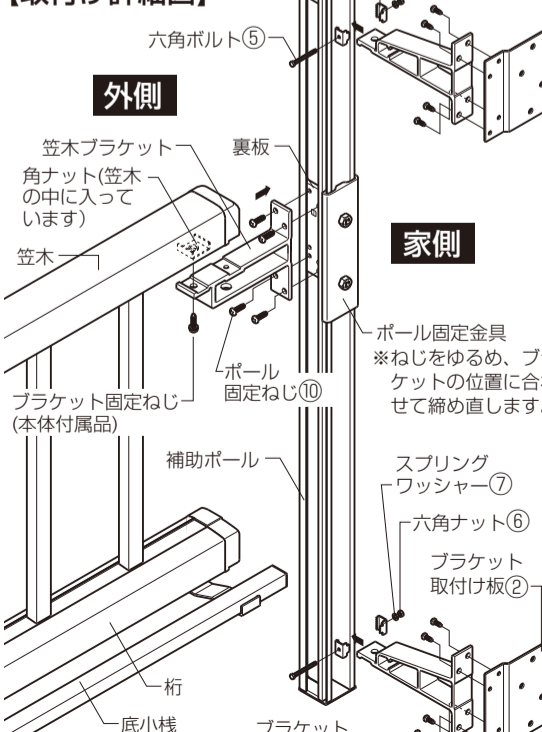
■A部詳細図



(図2)



【取付け詳細図】



(図3)